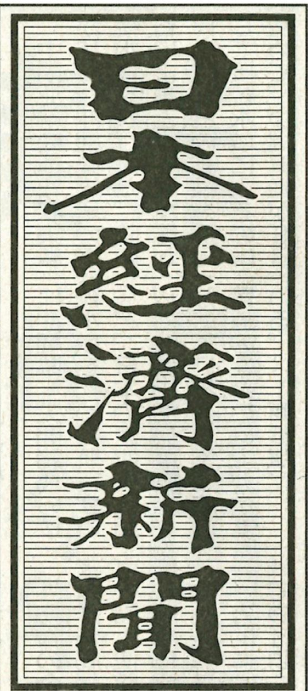


Pepperアプリ「ケア樹あそぶ」の取り組みをご紹介いただきました。



6月17日
金曜日

発行所 日本経済新聞社
東京本社 電話(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社 電話(06)7639-7111
名古屋支社 電話(052)243-3311
西部支社 電話(092)473-3300
札幌支社 電話(011)281-3211

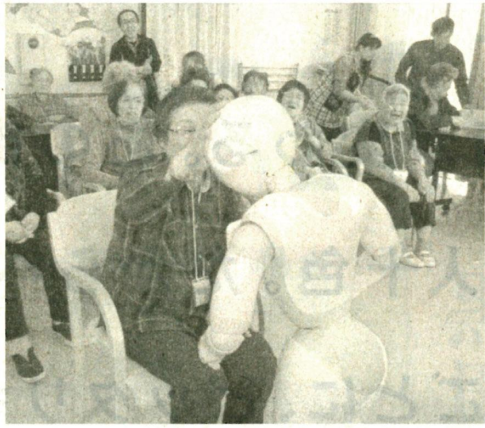
介護の会話に「ペッパー」

業務ミス防止にも対応

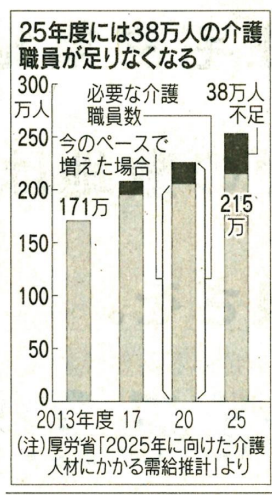
グッドツリーがアプリ

IT企業のグッドツリー(仙台市)は、ソフトバンクのヒト型ロボット「ペッパー」向け介護アプリを開発した。ペッパーに組み入れ、介護事業所で高齢者とコミュニケーションをとるほか、介護士と毎日のスケジュールを確認して業務のミスや負担を減らす。最新技術を活用し、介護現場の人手不足を解消する。実証実験で効果も測定しつつ、今後3年間で1000台への導入を目指す。

3年で1000台に導入めざす



ペッパーは高齢者の話し相手になるだけでなく介護士の負担も減らす



月内に販売を始める。アプリを起動すると歌や昔話、漢字クイズや川柳などのメニューからペッパーとコミュニケーションをとる方法を選べる。

ペッパーに直接話しかけるか、胸部の画面を触ることで操作できる。ペッパーは高齢者と会話しながら好きな食べ物や旅行したことのある場所などの情報を覚え、より深い会話ができるように学習することもできる。

ペッパーに直接話しかけるか、胸部の画面を触ることで操作できる。ペッパーは高齢者と会話しながら好きな食べ物や旅行したことのある場所などの情報を覚え、より深い会話ができるように学習することもできる。

年内にはアプリの機能も追加。高齢者の遊び相手になるだけでなく、サービスの漏れやミスを防ぐため、介護施設の従業員と毎日のスケジュールを確認する。

介護用アプリは初期利用料5万円に加え、月ごとの1万円が売り出す。ソフトバンクは2015年にペッパーと組み合わせて使うアプリの開発コンテストを実施。グッドツリーが専門家と共同開発したアプリが最優秀賞を受賞した。同社は全国の介護事業所にペッパーを持ち込み、20回以上

実証を重ねて高齢者の利用具合を確認してきた。グッドツリーは11年に介護記録をとったり市町村に毎月の介護報酬の請求をしたりできるソフト「ケア樹」の販売を始めた。既に700の事業所で導入実績がある。ペッパーを使う事業所ではケア樹に蓄積された介護記録と連携し、質の高いサービスを提供する。

国立研究開発法人の日本医療研究開発機構(東京・千代田)の実証実験にも8月から参加する。介護現場にペッパーを持ち込み、利用者とコミュニケーションをとれるか世界保健機関(WHO)の基準で効果を測る。

厚労省によると25年には38万人の介護職員が全国で不足する見通しで、ペッパーなどのロボットを活用した人手不足の解消は急務だ。

グッドツリーはITを活用した介護事業を手掛ける。15年12月の売上高は1億円弱。今後3年間で5億円に伸ばす。

ケア樹

あそぶ

for Pepper

GoodTreeCo.

ご利用者さんの
笑顔を増やすために
さあ！一緒に♪

